

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念をもっている。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日朝礼後、全員で唱和し確認し合っている。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	町内会参加。町内、校区内の行事に参加し、高齢者を尊重して頂けるよう努め、家族配布の『いきいき便り』にて家族へ啓発活動を行っている。	地域住民へ更に高齢者尊重の意義理解に努めていきたい。
2.地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶の励行の厳守。および町内会各種行事に参加後、終了時いつでも見学に来て頂けるよう伝え更に夏祭り参加のチラシ配布を行っている。	地域住民へ更に高齢者尊重の意義理解に努めていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	職場体験学習、年末防犯警備、町内清掃、運動会、老人会・等機会ある毎に積極的に参加している。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	施設周辺の清掃、ゴミ拾い等を定期的に行っている。		
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	19年度外部評価結果については異議申し立て期間が過ぎ、代表者より管理者、スタッフのもとへ到着したため異議申し立てが出来なかった。全職員協議の上納得いく点については改善しているが、結果に不承知の部分は現状維持である。		20年度の外部評価の結果にて再検討する予定。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価の結果については、メンバー全員に配布し状況を説明している。また運営推進会議議事録を全員閲覧署名し、意見をサービスに反映している。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に市役所担当者を訪問して、現在の問題点等を相談し、改善に向けて取り組んでいる。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	会議の中で、職員との勉強会を実施している。現在 1名権利擁護制度を利用中、月 1回訪問予定。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内教育として、ビデオ鑑賞、事例報告等にて虐待防止に努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約事項を契約時読み上げ、説明了承を得ている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>一人々の訴えを全職員が傾聴し管理者へ報告するよう徹底、その後朝のミーティングで周知徹底するようしている。また、自由に電話、面会で意思表示できるようにしている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的にいきいき便り(つつし苑発刊)にて近況報告を行っている。面会時には状況や健康状態、金銭出納帳、検査データを報告している。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族から訴えがあった場合は早急に検討、対処している。</p>		<p>今後家族会を設け自由に意見を表現できるように行う予定である。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営者は意見を行く機会が少ないが、苑内では定期的に職員会議を開き意見や提案を募り、反映できるよう努めている。</p>		<p>より意見、提案を聞けるよう機会を設けたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の休日の要望や冠婚葬祭等緊急時には柔軟に対応している</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>移動はできるだけ避けたいと思っているが、現場の事情によりやむなく移動、離職が発生している。</p>		<p>移動、離職が少なくなるような職場づくりをしていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の採用は介護への思いを大切にしており性別、年齢で差別はしていない。労働時間もほぼ規定内に収まるようしている。ローテーションも本人の都合を聞き休日をあわせるなど配慮している。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>利用者の尊厳・人権を守ることを日頃から全職員が心がけ対応している。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>育成計画は立ててないが、スタッフの経験、力量に応じ研修会への参加、資格取得のすすめなどを行っている。</p>	<p>育成計画を立て、内外の研修参加を計画していきたい</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>久留米市の事業者協議会のグループホーム部会に加入し、相互訪問活動などを検討してもらっている。同校区のグループホームとは連携を図っている。</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>柔軟な勤務体制、屈託の無い意見を発言できる雰囲気づくり、定期的な懇親会の開催等を行っている。</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>管理者の報告や、勤務状況を把握したり、職員自身の自己評価を行うこと</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>以前から関わりのある施設職員や家族から十分に情報収集をおこない更に体験入所を行い信頼関係を築けるよう行っている。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人、家族とゆっくり話し状況を把握した上で、その後必要な支援、サービスを利用できるよう努めている。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入苑以前までに関わってきた医療機関、介護施設その他の関係諸機関からの情報報酬並びに家族から聞き取りを行い適切な対応が出来るよう努めている</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になじみながら徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入苑前に自宅または、施設へ訪問し本人に直接パンフレットにて当苑の紹介を行い、その後当苑の下見、体験入所(日帰り)を2~3回行ってもらうなど、徐々に、なじめるよう努めている。</p>	
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に買い物、皿拭き、衣類たため、自室の整理整頓等を行っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	契約時に共に支えあっていく関係であることを話している。また、外出や行事等には積極的に家族への呼び掛けをしてお誘いしている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	本人の誕生日や各種行事の案内を行い一緒に楽しんでもらう機会を増すようにしている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	来苑者との関係が途切れないよう電話での支援を行っている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わら合い、支え合えるように努めている	仲のよい者同士、臨席になるよう工夫し毎日のレクリエーションや各種行事などでは孤立しないようスタッフが工夫している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりを必要とする利用者の家族には、出来る支援を行い関係を大切にしたいと思っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族や関係機関からの情報収集に努め本人の趣味、性格、身体機能を考慮し思いのままに生活してもらっている。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族からの情報収集をもとに暮らし方を考えている。家具、日用品等については馴染みのものを使用してもらうよう家族とも相談している。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>利用者の精神的、知的、身体能力、生活履歴を考慮し、ケアを行っている。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンス、モニタリング、家族等の意見を聞きケアプランに反映している。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なアセスメント、モニタリング、ケアカンファレンスによる意見を反映し、作成している。ただし状態、状況が一変した場合はその都度状況に即した介護計画を作成している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践 結果、気づきや工夫を個別記録に記入し 情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に1回カンファレンスを行い見直し検討を行っている。また、毎朝の申し送りにて情報を共有し介護計画に生かせるよう努めている。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて通所訪問、宿泊、病院送迎、その他買い物支援等柔軟な支援を行っている。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員、自治委員の支援を受け地域交流を行い消防機関の協力をも得ている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問歯科や出張散髪、訪問マッサージを必要に応じ利用している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	隔月ごとに開催する運営推進会議にてセンター職員に相談助言を得ている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望により入所以前の主治医を継続して支援したり 本人の状態に応じた医療支援も行っている。また、事業所主治医には24時間、緊急対応してもらっている。		

グループホーム 国分つつし苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	常時適切な助言、指導が得られている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が看護師であり24時間対応している。各種研修会等にも参加し、他の医療機関等の相談助言も得られる。		
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院できるよう適切な医療支援を得ている。又、他の医療機関とも交流に努め備えている。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時にターミナルケアについての説明、承諾を書面にて得ている。尚、利用者及び家族の意向を十分受け入れ、スタッフ、主治医と情報を共有し終末期介護を行っている。		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	施設内で可能な医療処置を確認し本人、家族の意思を尊重したチーム全体での支援を行っている。		
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移動先の職員、家族を交え日常生活パターンや注意事項を説明し書面にて介護添書にて情報を提供している。その後フォローアップを含め質問、相談には丁寧に対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>声かけや記録の内容について、職員同士が意見しあい、利用者の尊厳と人権を守ることを心がけて対応している。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めた納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人の思いをよく傾聴しスタッフの考えが中心にならないよう利用者本位の支援を大切にしている。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床から就寝まで一切制限することなく散歩、買い物、入浴その他娯楽等自由に行えるよう支援している。また、各種行事は本人の体調や意思を十分に尊重し行っている。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>身だしなみ等の整容は本人の意見を尊重し支援しているが、おしゃれは利用者自身の趣味や希望に沿って個別に支援している。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>昼食は職員も一緒に食事し、個人の能力に応じ後かたづけを手伝ってもらっている。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>梅酒、ビール等好みのものを預かり要求時提供している。なお、希望の菓子等は希望時近くのセブンイレブンへ買い物支援している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者一人一人の排泄パターンを把握しトイレ誘導、声かけを行っている。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日朝から夕まで開放し好きな時自由に入浴できるように、なんら制約していない。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自由に休息、就眠出来るよう消灯時間や就床時間を設定していない。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食後の皿拭きやピアノ演奏それぞれの能力や趣味を生かせるよう支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物の際はスタッフは付き添いが支払いは本人が支払うよう支援している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の体調、能力、歩行状態に応じ一緒に出かけるメンバーや行き先に配慮しながら、なるべく希望に添えるよう支援している。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	希望を取り入れ定期的に近隣へ出かけている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望でいつでも電話が掛けられるよう制限はしていない。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に関する制限はなくいつでも歓迎している。尚、気兼ねなく自由に話せるように居室、ロビー、苑外等場所の制限はしていない。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員コンプライアンスを周知、励行している。転倒防止の為に1名「ベットの2点使用」を明記し家族の承諾を得ている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は利用者の希望にて鍵を設置し利用者自らが施錠されている。玄関は午前10:00～午後4:00の間開放している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	暖簾やカーテン等を利用し出来る限りプライバシーの保護に努めている。尚、外出時は付き添い全スタッフが行き先を把握できるよう周知徹底に努めている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	共有場所には危険物は一切危険物を置いていない。尚、ハサミ、針等の危険物は職員休憩室にて保管管理し毎日物品点検している。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎年2回消防署の協力を得て火災訓練を受け、その他の事故については緊急時マニュアルを作成、周知徹底している。なお、個別の事故防止マニュアルは作成していない。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署による普通救命講習や看護師による応急手当の講習を実施している。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	同敷地内に学生寮があり寮長をつつし緊急時には学生全員が避難救助に駆けつけるよう周知徹底してもらっている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時家族へ高齢者の特徴について説明し、一人＂に起こりうるリスクについても家族等に説明し理解を得ている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し対応に結び付けている	持病などを把握し、朝の申し送りによる情報の共有・毎朝のバイタルチェックによる平均値を把握し、また本人の顔色や表情などに留意し異常の早期発見に努めている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各人の処方箋一覧表を作成し常時、閲覧出来るようにしている。また状態の変化に応じ医師への相談、服薬の調整などに努めている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日テレビ体操、水分補給及び毎日屋外散歩を行うなど便秘予防に努めている。献立にはなるべく野菜を多く採れるように工夫している。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自立にて歯磨きが出来た利用者には、毎食後声かけ及び誘導を行い全介助入居者には歯磨き介助を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	朝、昼、夕の食事量の確認、チェック、記録。体重測定、医師による定期的検査を行い、個々の状態、変化に応じ食事や水分の摂取を支援している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルをもとに、手指消毒液の設置、各種処置前後は手洗いの施行及び必要に応じ手袋の使用を行っている。必要に応じマスクも使用している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は新鮮な物を使用し、調理器具は日光及び薬液(ハイター)による消毒を行っている。定期的な冷蔵庫の掃除を行うなど、衛生管理に努めている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りは和風庭園を作り、花壇には利用者の皆さんと花を育て、普通の生活が営まれているような雰囲気を作り、家族、家庭、近隣の方も親しめるよう工夫している。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空間としてはそれぞれが広く、ゆっくり出来るスペースを確保している。四季折々の花で彩り季節感を出し、ピアノを置き居間の雰囲気を作るなど工夫している。また各居室の入り口にはそれぞれの造花を飾るなど色々と雰囲気作りをしている。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはソファを設置し思い思いに過ごせるようなスペースを確保している。利用者同士の過ごし方も個々の思いを大切に支援している。		

グループホーム 国分つつし苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が長く使い慣れた日用雑貨を利用するように勧め自宅の延長の雰囲気をかもしだし居心地に工夫している。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気については窓の開閉換気扇で、温度、湿度は利用者の状態に合わせ、空調機で調節しているが、まず衣類の調節や自然の風を大切にしている。		
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ベット、布団、ポータブルトイレ等各人の心身状態に応じた環境作りを行い快適に暮らせるように工夫している。なお、廊下、居室、共有場所はバリアフリーを実施。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱が招かないように居室、トイレ、玄関、風呂場等わかりやすいように壁に明記している。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように活かしている	屋外駐車場を利用し野外食、日光浴、夕涼みをおこなっている。又、スタッフと共に花壇作りを行っている。		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に 1 回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 国分つつし苑

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

国分つつし苑は、定員1ユニット9名で現在9名入居中 スタッフは、常勤・非常勤 計13名にて、家庭的な雰囲気のもと、細かいところまで手の行き届いた、ケアを行っております。また、その人らしさを尊重し、自主性を促しのびのびと穏やかな日々を送って頂いております。周辺環境は、施設のそばに、高良川が流れており河川に四季折々の花が咲き乱れ毎日、河川敷を散歩する事が日課となり入居者様の健康管理に、一役買っています。